

2020年9月1日

北海道ハンドボール協会 新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン

日本スポーツ協会「スポーツイベント開催・実施時の感染防止策チェックリスト（主催者向け 5/29 更新）から一部抜粋

- ・感染防止のため、主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（イベントの受付場所等）に掲示する
- ・各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認する
- ・万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、参加当日に参加者より提出を求めた書面について、保存期間（少なくとも1月以上）を定めて保存する
- ・イベント後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、施設の立地する自治体の衛生部局とあらかじめ検討する

【新型コロナウイルス感染症防止策】

1. 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
2. 会場に来場した際は、会場受付にて所定の手続きをとってもらう。来場者にはマスクの着用を求める
3. 発熱や咳・咽頭痛などの風邪症状がある場合は、軽度であっても入場しないように呼びかける
4. 参加者からは、以下の事項を記載した「健康チェックシート」の提出を求める
 - (1) 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取扱いには十分注意する
 - (2) イベント当日の体温
 - (3) イベント前2週間における以下の項目の有無
 - ア. 平熱を超える発熱
 - イ. 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - ウ. だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - エ. 嗅覚や味覚の異常
 - オ. 身体が重く感じる、疲れやすい等
 - カ. 新型コロナウイルス感染症で陽性とされた方との濃厚接触者の有無
 - キ. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ク. 過去14日以内に政府からの入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
5. 会場入り口には消毒液を設置し、手指のアルコール消毒を求める。アルコールにアレルギーがある場合は、石けんを用いた十分な手洗いを求める。また、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行うことを求める

6. 施設のゴミ箱は使用を禁止し、ゴミの持ち帰りを求める
7. 大会の開催中における館内施設（ドア、トイレ等）の定期的な消毒について、施設責任者に依頼する。また、各日競技終了後の消毒についても依頼する
8. 大会開催中、会場内については随時喚起を行う
9. 更衣室は、隣との十分な距離を確保しながら使用すること
10. 着替えの際もマスクを着用すること
11. 試合以外では、他の者との距離を出来るだけ2m以上確保すること
12. 参加選手および役員には、競技中やウォーミングアップ時（運動時）以外にはマスクの着用を求める
13. 大会開催中に大きな声で会話、応援等をしないこと（試合中の選手は除く）
14. 競技ベンチについては、間隔を空けて配置する（最低1m以上）。オフィシャル席も間隔を空けて配置する
15. タオルの共用はしないこと
16. 前半終了後及び試合終了後は、ベンチの消毒を当該チームの責任者に依頼する。オフィシャル席の消毒も同様に担当チームの責任者に依頼する。その際に使用する用具については、主催者側で用意する。
17. 大会期間中のミーティング等においてはマスクを着用し、三つの密を避けること
18. 咳やくしゃみをするときはには、咳エチケットを守り、袖かティッシュを使用する（使用したティッシュは必ず廃棄する）
19. ウォーターボトルを複数の人で共有したり、チームのウォーターボトルを使用しないこと
20. 泊を要するチームの関係者が現地で発熱したり、会場で発熱者が出た場合は、すぐに他者との接触が無い状態を確保すると共に主催者に連絡し、その発熱が選手であれば、該当選手の出場を見送るよう求める
21. 大会終了後2週間以内に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合は、該当市町の保健所と連携をとり、適宜対応する
22. 今後、新型コロナウイルス感染症が拡大し、非常事態宣言が発出されるなどの事態となった場合は、主催者の判断で中止することもある